

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月9日
【四半期会計期間】	第84期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社乃村工藝社
【英訳名】	NOMURA Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 榎本 修次
【本店の所在の場所】	東京都港区台場2丁目3番4号
【電話番号】	03(5962)1119
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括本部長 中川 雅寛
【最寄りの連絡場所】	東京都港区台場2丁目3番4号
【電話番号】	03(5962)1119
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理統括本部長 中川 雅寛
【縦覧に供する場所】	株式会社乃村工藝社 大阪事業所 （大阪府大阪市浪速区難波中2丁目10番70号 パークスタワー19階） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第83期 第2四半期 連結累計期間	第84期 第2四半期 連結累計期間	第83期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (百万円)	70,724	53,720	143,689
経常利益 (百万円)	6,693	2,487	11,242
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	4,517	1,407	7,795
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,091	1,256	7,381
純資産額 (百万円)	44,501	45,481	47,792
総資産額 (百万円)	83,641	77,756	90,694
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	40.60	12.65	70.06
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.2	58.5	52.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,353	4,413	6,310
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,227	688	2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,911	3,573	2,944
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	30,132	33,403	33,288

回次	第83期 第2四半期 連結会計期間	第84期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	25.24	5.76

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をおこなっております。第83期の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響として、緊急事態宣言の発出以降、専門店・百貨店等の商業施設や博物館・美術館等の文化施設などの臨時休業、また、各種催事・展示会・イベント等の延期・中止など、多くのお客様の企業活動が停止した結果、当社グループの受注活動の停滞や、施工中案件の工事中断などの事態が発生し、リスクが顕在化しております。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	70,724	53,720	17,004	24.0
営業利益	6,592	2,414	4,177	63.4
経常利益	6,693	2,487	4,206	62.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,517	1,407	3,109	68.8

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気が急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部持ち直しの動きが見られるものの、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましても、同感染症拡大の影響により多くのお客様の事業活動が停滞し、また、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期の影響等もあり、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2022年に向けて「NOMURA長期ビジョンN22」を掲げ、「プロスペリティ・パートナー」への進化を追求することとし、当社グループの多彩な商品・サービスを総合的に提供することで、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。また、社員の健康的な働き方の実現と人財育成に取り組むとともに、社会の要請・変化に即した経営基盤を構築することにより、お客様の新たな経営課題に応え、お客様とともに社会課題の解決に取り組んでまいりました。

さらに、当第2四半期連結累計期間におきましては、お客様、協力会社および当社グループ従業員など、関係者の安全の確保を最優先とし、同感染症拡大防止に最大限の配慮をしつつ事業活動を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、ディスプレイ事業の各分野において総じて売上が減少したことにより、売上高は537億20百万円(前年同期比24.0%減)となりました。また、利益面におきましては、売上高減少の影響により、営業利益は24億14百万円(前年同期比63.4%減)、経常利益は24億87百万円(前年同期比62.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億7百万円(前年同期比68.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ディスプレイ事業

大型案件があった専門店市場、広報・販売促進市場の売上が増加しましたが、同感染症拡大の影響により当社グループの受注活動が大きく停滞したこと、また、前年同期に大型案件があったことなどが影響し、上記以外の市場において総じて売上が減少しました。

その結果、売上高は534億28百万円（前年同期比23.0%減）、営業利益は25億54百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

（単位：百万円）

市場分野名	売上高		増減額	増減率 (%)
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販・飲食店、ブランド店舗等)	14,582	14,784	201	1.4
百貨店・量販店市場	2,865	1,598	1,266	44.2
複合商業施設市場	7,789	6,672	1,116	14.3
広報・販売促進市場 (企業PR施設、展示会、ショールーム等)	8,648	8,974	326	3.8
博物館・美術館市場	6,546	4,719	1,827	27.9
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル、エンターテインメント施設等)	8,062	6,492	1,570	19.5
博覧会・イベント市場	2,242	918	1,324	59.1
その他市場 (オフィス、鉄道・空港関連施設、プライダ ル、保育園等、上記以外の市場に係るもの)	18,685	9,268	9,416	50.4
ディスプレイ事業	69,422	53,428	15,994	23.0

飲食・物販事業

文化施設、商業施設、公共施設などの飲食店・物販店の運營業務等を手掛けましたが、同感染症拡大の影響により、多くの店舗において臨時休業や営業時間短縮の対応をおこなったことから、売上高は2億92百万円（前年同期比77.6%減）、営業損失は1億8百万円（前年同期は1億47百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は777億56百万円（前連結会計年度末比129億38百万円減）、負債は322億74百万円（前連結会計年度末比106億27百万円減）、純資産は454億81百万円（前連結会計年度末比23億10百万円減）となりました。

総資産は、受取手形及び売掛金とたな卸資産が減少したことにより減少しております。

負債は、支払手形及び買掛金と未払法人税等が減少したことにより減少しております。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いにより減少しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.7%から58.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、法人税等や配当金の支払い等がありましたが、売上債権の回収が進んだことにより、前連結会計年度末と比べ1億15百万円増加し、当第 2 四半期連結会計期間末には334億3百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の回収および前受金の増加等により44億13百万円の収入（前年同期は23億53百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出等により6億88百万円の支出（前年同期は12億27百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により35億73百万円の支出（前年同期は29億11百万円の支出）となりました。

(4) 資本の財源及び資金の流動性

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの資本の財源及び資金の流動性について重要な変更はありません。

(5) 経営方針・経営戦略等

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(6) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(7) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間において、特記すべき重要な事項はありません。

(8) 生産、受注及び販売の実績

セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の実績

イ. 生産高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	17,455	13,319
百貨店・量販店市場	3,100	1,568
複合商業施設市場	8,594	6,084
広報・販売促進市場	8,924	8,091
博物館・美術館市場	6,031	4,174
余暇施設市場	8,501	6,318
博覧会・イベント市場	2,384	1,392
その他市場	19,650	11,103
ディスプレイ事業 小計	74,642	52,053
(飲食・物販事業)	-	-
合計	74,642	52,053

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

ロ. 期中受注高および受注残高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	19,029	12,388	9,159	4,684
百貨店・量販店市場	3,118	1,791	887	836
複合商業施設市場	7,250	8,175	4,067	4,280
広報・販売促進市場	8,788	5,274	4,170	6,006
博物館・美術館市場	7,065	7,077	5,860	9,202
余暇施設市場	9,043	10,966	3,385	7,519
博覧会・イベント市場	8,981	8,318	2,733	10,953
その他市場	15,456	16,173	13,164	17,477
ディスプレイ事業 小計	78,733	70,165	43,429	60,961
(飲食・物販事業)	-	-	-	-
合計	78,733	70,165	43,429	60,961

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

八. 売上高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	14,582	14,784
百貨店・量販店市場	2,865	1,598
複合商業施設市場	7,789	6,672
広報・販売促進市場	8,648	8,974
博物館・美術館市場	6,546	4,719
余暇施設市場	8,062	6,492
博覧会・イベント市場	2,242	918
その他市場	18,685	9,268
ディスプレイ事業 小計	69,422	53,428
(飲食・物販事業)	1,302	292
合計	70,724	53,720

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の実績

イ. 生産高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	40,345	24,956
展示制作	18,790	14,217
環境演出制作	3,339	3,121
販促品制作	292	118
企画・設計・監理	5,588	4,813
その他	6,285	4,825
ディスプレイ事業 小計	74,642	52,053
(飲食・物販事業)	-	-
合計	74,642	52,053

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

ロ. 期中受注高および受注残高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	33,386	31,277	20,856	22,259
展示制作	25,010	20,705	9,574	21,878
環境演出制作	3,868	2,398	4,541	3,571
販促品制作	340	96	141	66
企画・設計・監理	6,989	7,277	2,646	6,488
その他	9,136	8,410	5,669	6,697
ディスプレイ事業 小計	78,733	70,165	43,429	60,961
(飲食・物販事業)	-	-	-	-
合計	78,733	70,165	43,429	60,961

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

ハ. 売上高の実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	35,109	25,351
展示制作	18,792	15,283
環境演出制作	3,294	2,649
販促品制作	284	118
企画・設計・監理	5,287	5,285
その他	6,654	4,739
ディスプレイ事業 小計	69,422	53,428
(飲食・物販事業)	1,302	292
合計	70,724	53,720

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	476,340,000
計	476,340,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	119,896,588	119,896,588	東京証券取引所 市場第一部	(注)
計	119,896,588	119,896,588	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式(1単元:100株)であります。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年6月1日~ 2020年8月31日	-	119,896,588	-	6,497	-	1,624

(5)【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
有限会社乃村	東京都渋谷区神山町39-12	10,468	9.41
有限会社蟻田	神奈川県茅ヶ崎市東海岸南1-8-10	10,283	9.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	6,738	6.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	3,837	3.45
乃村 洋子	東京都渋谷区	3,316	2.98
乃村工藝社共栄会	東京都港区台場2-3-4	3,000	2.70
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	2,753	2.48
乃村工藝社従業員持株会	東京都港区台場2-3-4	2,584	2.32
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	1,949	1.75
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6	1,815	1.63
計	-	46,747	42.02

(注) 当社は、自己株式8,632千株(7.20%)を保有しております。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,632,800	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 111,239,800	1,112,398	同上
単元未満株式	普通株式 23,988	-	同上
発行済株式総数	119,896,588	-	-
総株主の議決権	-	1,112,398	-

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が22,000株(議決権220個)含まれております。
2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式88株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社乃村工藝社	東京都港区台場2丁目 3番4号	8,632,800	-	8,632,800	7.20
計	-	8,632,800	-	8,632,800	7.20

- (注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が4,000株(議決権40個)あります。
なお、当該株式数は、上記 [発行済株式] の「完全議決権株式(その他)」に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）および第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,288	33,403
受取手形及び売掛金	27,576	14,473
たな卸資産	11,898	10,942
その他	1,951	3,004
貸倒引当金	13	16
流動資産合計	74,701	61,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,316	6,300
土地	3,743	3,743
その他	2,205	2,088
減価償却累計額	4,541	4,552
有形固定資産合計	7,723	7,579
無形固定資産	2,341	2,713
投資その他の資産		
投資有価証券	2,987	2,774
繰延税金資産	1,667	1,666
その他	1,534	1,486
貸倒引当金	261	273
投資その他の資産合計	5,927	5,653
固定資産合計	15,993	15,947
資産合計	90,694	77,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,292	10,049
未払法人税等	1,909	957
前受金	8,693	11,510
賞与引当金	1,858	1,882
完成工事補償引当金	40	37
工事損失引当金	62	35
その他	5,596	2,203
流動負債合計	37,453	26,676
固定負債		
退職給付に係る負債	4,963	5,128
その他の引当金	186	186
その他	299	282
固定負債合計	5,449	5,598
負債合計	42,902	32,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	35,328	33,175
自己株式	1,092	1,092
株主資本合計	47,594	45,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	357	212
為替換算調整勘定	68	38
退職給付に係る調整累計額	253	228
その他の包括利益累計額合計	172	21
非支配株主持分	25	17
純資産合計	47,792	45,481
負債純資産合計	90,694	77,756

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	70,724	53,720
売上原価	55,813	43,361
売上総利益	14,911	10,359
販売費及び一般管理費	1 8,319	1 7,944
営業利益	6,592	2,414
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	36	29
仕入割引	31	21
その他	36	33
営業外収益合計	107	87
営業外費用		
支払利息	0	-
為替差損	6	15
その他	0	0
営業外費用合計	6	15
経常利益	6,693	2,487
特別損失		
固定資産除売却損	4	3
投資有価証券評価損	-	5
ゴルフ会員権評価損	5	2
店舗臨時休業による損失	-	2 70
特別損失合計	9	81
税金等調整前四半期純利益	6,683	2,405
法人税等	2,157	998
四半期純利益	4,526	1,406
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失()	8	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,517	1,407

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	4,526	1,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	144
為替換算調整勘定	26	30
退職給付に係る調整額	12	24
その他の包括利益合計	435	150
四半期包括利益	4,091	1,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,082	1,257
非支配株主に係る四半期包括利益	8	1

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,683	2,405
減価償却費	431	379
賞与引当金の増減額(は減少)	537	24
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	189	202
その他の引当金の増減額(は減少)	2	22
受取利息及び受取配当金	39	32
売上債権の増減額(は増加)	7,623	13,073
たな卸資産の増減額(は増加)	3,944	944
前渡金の増減額(は増加)	41	1,017
仕入債務の増減額(は減少)	2,045	9,200
未払金の増減額(は減少)	2,576	2,126
前受金の増減額(は減少)	1,521	2,823
未払消費税等の増減額(は減少)	51	152
その他	324	1,370
小計	5,105	6,236
利息及び配当金の受取額	39	32
利息の支払額	0	-
法人税等の支払額	2,791	1,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	4,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	231	144
無形固定資産の取得による支出	960	583
投資有価証券の取得による支出	210	210
投資有価証券の売却及び償還による収入	201	213
その他	26	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,227	688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	2,878	3,542
非支配株主への配当金の支払額	7	6
その他	24	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,911	3,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	35
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,808	115
現金及び現金同等物の期首残高	31,941	33,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,132	33,403

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
仕掛品	11,742百万円	10,790百万円
商品及び製品	150	150
原材料及び貯蔵品	5	1
合計	11,898	10,942

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目および金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
給料手当	2,714百万円	3,255百万円
賞与引当金繰入額	1,079	889
退職給付費用	142	165

- 2 店舗臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、政府及び各自治体からの要請等を受け、連結子会社において飲食・物販事業に関連する店舗の臨時休業を実施いたしました。当該店舗において臨時休業期間中に発生した固定費等(人件費・減価償却費・商品除却損など)を店舗臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
現金及び預金勘定	30,132百万円	33,403百万円
現金及び現金同等物	30,132	33,403

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月23日 定時株主総会	普通株式	2,892	52	2019年2月28日	2019年5月24日	利益剰余金

- (注) 1 1株当たり配当額については、記念配当2円が含まれております。
2 2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をおこなっております。2019年2月28日を基準日とする1株当たり配当額については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月27日 定時株主総会	普通株式	3,560	32	2020年2月29日	2020年5月28日	利益剰余金

- (注) 1株当たり配当額については、記念配当2円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,422	1,302	70,724	-	70,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	20	42	42	-
計	69,444	1,322	70,766	42	70,724
セグメント利益	6,477	147	6,625	32	6,592

(注)1 セグメント利益の調整額 32百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,428	292	53,720	-	53,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	3	4	4	-
計	53,429	295	53,725	4	53,720
セグメント利益又は 損失()	2,554	108	2,445	31	2,414

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 31百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費
であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益	40円60銭	12円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	4,517	1,407
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	4,517	1,407
普通株式の期中平均株式数(株)	111,263,700	111,263,700

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月9日

株式会社乃村工藝社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高尾英明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 戸塚俊一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社乃村工藝社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社乃村工藝社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。